Hyper S-Stage KIT α　取扱説明書

商品番号：０１－０５－５１１４
ボア径：４８.５mm　ストローク：４４mm（ノーマル）　排気量：８１.２ｃｃ
適応車種およびフレーム番号
Ｔｏｄａｙ:ＡＦ６１－１０００００１～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切 負いかねます。
◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎この製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やカワサキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお薦め致します。
◎商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎ウエイトローラー、スライダー、Ｖベルトは消耗部品です。ムーバブルドライブフェイスやランププレートも含めて、走行距離１,０００km以下ごとに必ず点検し、摩耗や損傷が激しいものは必ず新品部品と交換して下さい。又、エンジン仕様や使用状況によって消耗の度合が変わりますのでご注意下さい。

⚠注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は､必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は､必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

May./25/ 07

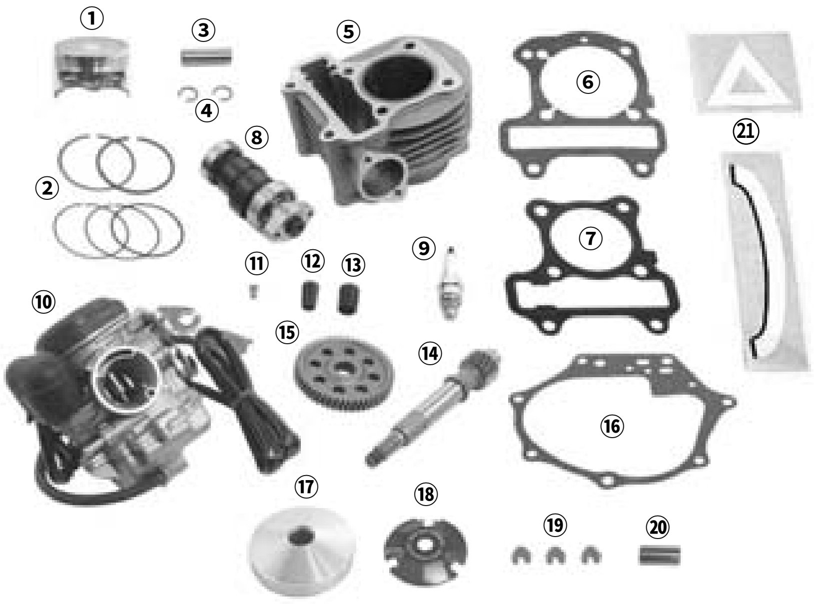
◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。また、修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

○ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
◇ネジをゆるめるということは、締まっている状態から３～４回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。
◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

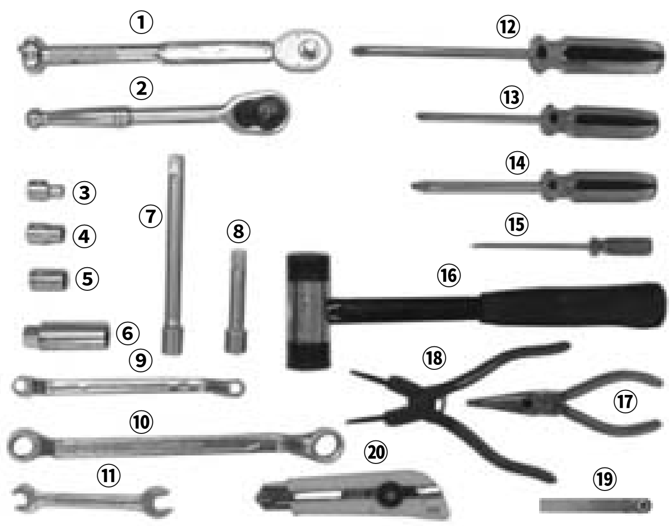
～商　品　内　容～

キット内容



番号	名　称	数量
１	ピストン	１
２	ピストンリングセット	１
３	ピストンピン	１
４	ピストンピンサークリップ	２
５	シリンダー	１
６	シリンダーヘッドガスケット	１
７	シリンダーガスケット	１
８	カムシャフト	１
９	スパークプラグ	１
１０	キャブレタＡＳＳＹ．	１
１１	メインジェット　＃８０	１
１２	キャップ　７mm	１
１３	キャップ　９．８mm	１
１４	ドライブシャフト	１
１５	カウンターギア	１
１６	トランスミッションカバーガスケット	１
１７	ムーバブルドライブフェース	１
１８	ランププレート	１
１９	スライドピース	３
２０	ドライブフェースボス	１
２１	原付２種マークセット	１

取り付けに使用する工具等



番号	名　称
１	トルクレンチ
２	ラチェットレンチ
３	ソケット　　８mm
４	ソケット　１０mm
５	ソケット　１２mm
６	プラグソケット　１６mm
７	エクステンションバー　中
８	エクステンションバー　小
９	メガネレンチ　　9mm
１０	メガネレンチ　１４mm
１１	スパナレンチ　１０－１２mm
１２	プラスドライバー大
１３	プラスドライバー中
１４	マイナスドライバー中
１５	マイナスドライバー極細先
１６	プラスチックハンマー
１７	ラジオペンチ
１８	スナップリングプライヤー穴用
１９	シックネスゲージ
２０	スクレーパーまたはカッターナイフ
	ウエス
	エンジンオイル

～取　り　付　け　要　領～

※水平で安全な場所でスタンドを立て、車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

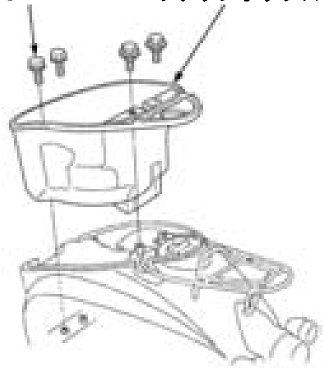
●取り外し

★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

★取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

①ボディーカバーの取り外し

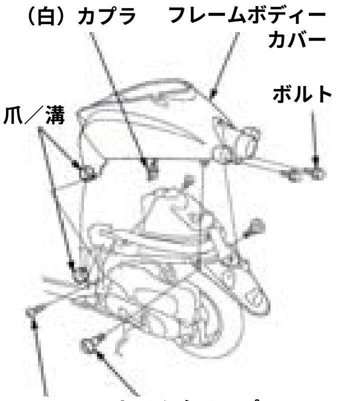
◇メインスイッチキーでシートを開け、ボルト４本を取り外し、ラゲッジボックスを取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
ラチェットレンチ



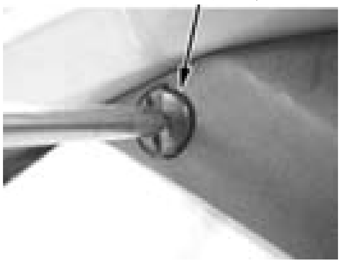
◇ボルト１本を取り外し、リアキャリアを取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ



◇フロアパネルとボディーカバーを止めているスクリュ２本、リアフェンダーとボディーカバーを止めているトリムクリップ２個、ボルト２本を取り外す。
使用工具
メガネレンチ　１０mm
プラスドライバー大

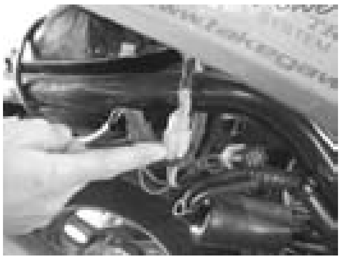


※トリムクリップは、中央部をドライバー等で押し、ロックを外してから取り外す。



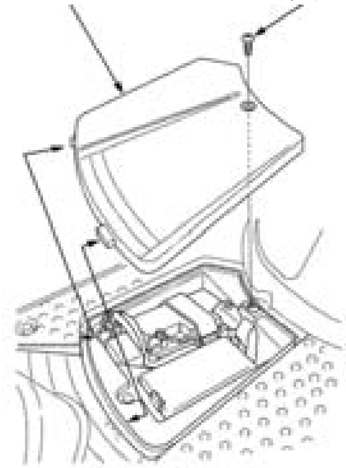


◇ボディーカバー後部を引き上げ前部の爪３箇所をフロアパネルの溝から外してボディーカバーを車体から取り外す。この際ボディーカバーにつながっている配線の白色カプラの接続を外す。

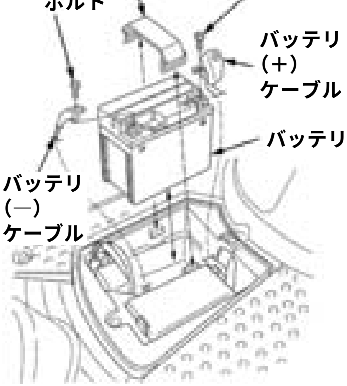


②バッテリの取り外し

◇スクリュ１本を取り外し、バッテリリッドの後を持ち上げながら後ろへ引いて取り外す。
使用工具
プラスドライバー中

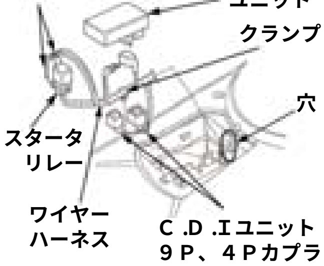


◇メインスイッチがＯＦＦか確認する。バッテリマイナス側のボルトを取り外し、マイナスケーブルを取り外す。バッテリプラス側のボルトを取り外し、プラスケーブルを取り外す。ホルダバンドを取り外し、バッテリを取り外す。
使用工具
プラスドライバー中



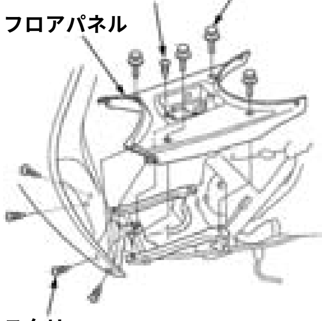
③フロアパネルの取り外し

◇Ｃ.Ｄ.Ｉユニットやスタータリレー、ヒューズボックス、ワイヤーハーネスをフロアパネルから取り外し、ワイヤーハーネスのクランプをフロアパネルから取り外す。



◇ＣＤＩユニット、スタータリレーのカプラの接続を外し、ワイヤーハーネスを真っ直ぐに伸ばしておく。

◇フレームとフロアパネルを止めているのボルト４本とスクリュ１本、レッグシールドとフロアパネルを止めているスクリュ４本を取り外し、フロアパネルをフレームからずらす。
使用工具
ボルト　：ソケット　１０mm
　　　　　ラチェットレンチ
スクリュ：プラスドライバー中



◇ワイヤーハーネス、ヒューズボックスをフロアパネルの穴に通し、フロアパネルを取り外す。

④二次空気供給パイプの取り外し

◇シリンダヘッドに付いている二次空気供給パイプのボルト２本を取り外す。
使用工具
ソケット　８mm
エクステンションバー中
（進行方向後側ボルトのみ）
ラチェットレンチ



⑤キャブレタの取り外し

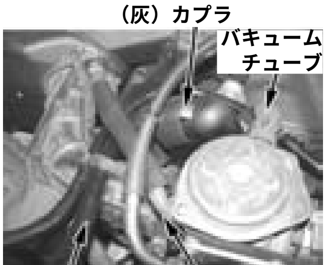
◇ドレンスクリューをゆるめ、キャブレタ内のガソリンを抜き取る。
使用工具
マイナスドライバー中



◇フューエルタンクの負圧コックからフューエルチューブの接続を外す。



◇バイスターターの灰色カプラ、バキュームピストンホース、エアリードチューブの接続をキャブレタから外す。フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプから外す。



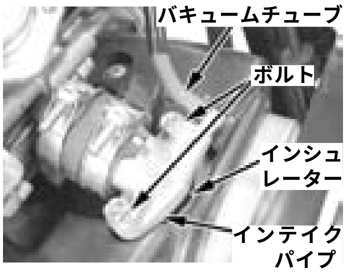
◇アジャストナットをゆるめ、スロットルケーブルをステーから外し、スロットルドラムからスロットルケーブルの接続を外す。
使用工具
スパナレンチ　１２mm



◇キャブレタとコネクティングチューブを止めているチューブバンドのスクリューをゆるめる。
使用工具
プラスドライバー中



◇インテイクパイプのバキュームチューブの接続を外し、シリンダヘッドとインテイクパイプを止めているボルト２本を取り外し、キャブレタ、インテイクパイプ、インシュレータを取り外す。
使用工具
スパナレンチ　１０mm



⑥エキゾーストマフラの取り外し

◇シリンダヘッドとエキゾーストパイプを止めているナット２個を取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ



◇マフラステー部のボルト２本を取り外し、マフラを取り外す。
使用工具
ソケット　１２mm
ラチェットレンチ

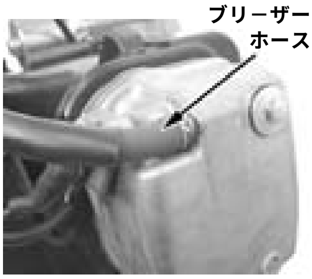


⑦ファンカバーとシュラウドの取り外し

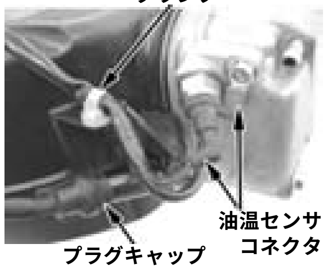
◇ファンカバーに付いている配線のクランプを取り外す。



◇シリンダヘッドカバーからブリーザーホースを取り外す。



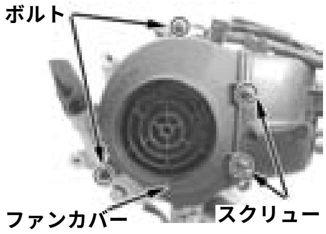
◇シリンダヘッドから、油温センサコネクタの接続を外し、シュラウドから配線のクランプを外す。
プラグキャップを引っ張って外す。
必ずキャップ部分を持って引っ張ること。



◇シュラウドのクランプからブリーザーホースと、配線を外す。



◇ファンカバーとシュラウドを止めているスクリュー２本とファンカバーとクランクケースを止めているボルト２本を取り外し、ファンカバーを取り外す。
使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルト　　：ソケット　８mm
ラチェットレンチ



◇上下のシュラウドを止めているスクリュー２本とシュラウドをクランクケースに止めているボルト１本を取り外す。
使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルト　　：ソケット　８mm
ラチェットレンチ

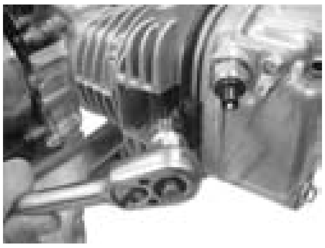




◇左右の爪を外し、シュラウドを外す。

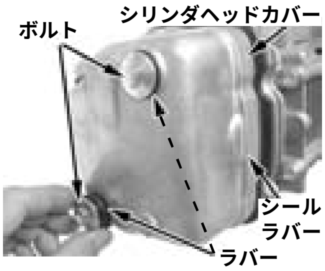
⑧スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。
◇スパークプラグを取り外す。
使用工具
プラグレンチ　１６mm
ラチェットレンチ



⑨シリンダヘッドカバーの取り外し

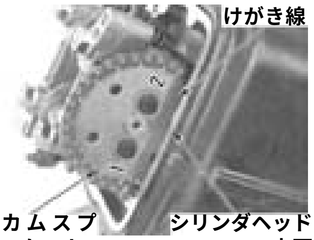
◇シリンダヘッドカバーのボルト２本を取り外し、ラバー２個、シリンダヘッドカバーを取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
ラチェットレンチ



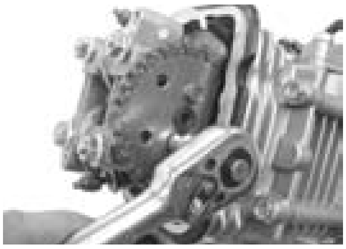
⑩カムスプロケットの取り外し

◇フライホイールを時計方向に回し、フライホイールの“Ｔ”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“１”が下側(排気側)、“２”が上側(吸気側)になるようにする。





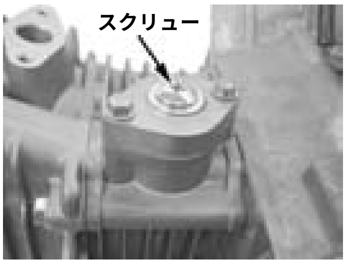
◇フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト２本を取り外す。
使用工具
ソケット　８mm
ラチェットレンチ



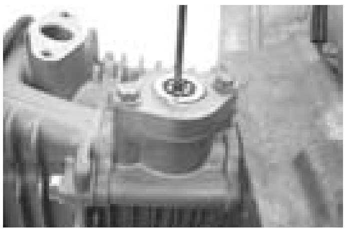
メガネレンチ　１４mm



◇シリンダのカムチェーンテンショナのスクリューを取り外す。
使用工具
プラスドライバー大



◇カムチェーンテンショナのストッパを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。
使用工具
マイナスドライバー極細先

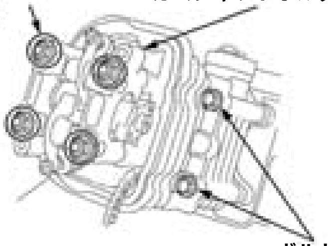


◇カムスプロケットをカムシャフトから抜き、カムチェーンから取り外す。
◇２本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナを取り外す。ガスケットは再使用するので取り外しておく。
使用工具
ソケット　１０mm
ラチェットレンチ

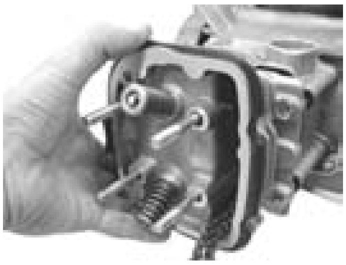


⑪シリンダヘッドの取り外し

◇シリンダヘッド横のボルト２本を取り外す。カムシャフトホルダーのナット４個を対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。
使用工具
ボルト：ソケット　１０mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ
ナット：ソケット　１２mm
ラチェットレンチ



◇カムシャフトホルダーを取り外し、シリンダヘッドを取り外す。
(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



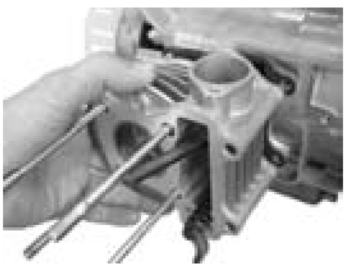
◇ノックピン４個は、再使用するので取り外しておく。

⑫シリンダの取り外し

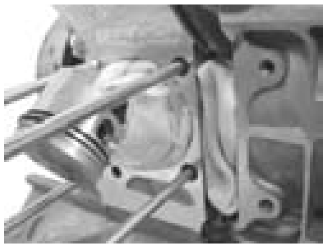
◇シリンダからカムチェーンガイドを取り外す。



◇シリンダを引っ張って取り外す。
(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



◇ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。
◇シリンダが外れた後、ゴミや部品が入らないようにきれいなウエス等をクランクケースのシリンダホールとカムチェーンホールに詰め込む。



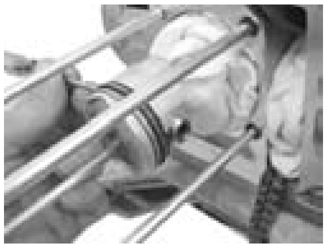
◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。
★キズをつけないように注意。

⑬ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れやすい。
使用工具
マイナスドライバー極細先



◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。



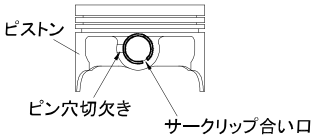
●Ｓ-ステージＫＩＴの取り付け

①ピストンの取り付け

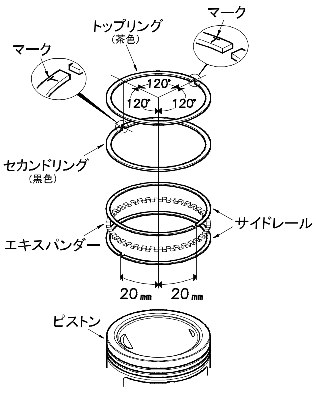
◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。
使用工具
ラジオペンチ



※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けること。



※ピストンにキズを付けないように注意。
※取り付け中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けること。
◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。



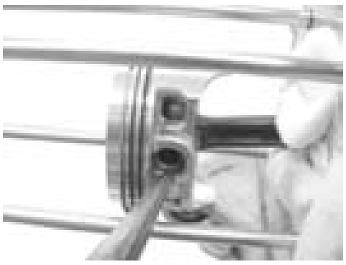




◇ピストン頂面の“→”マークが、下（排気側）に向くようにピストンをコンロッドに取り付ける。

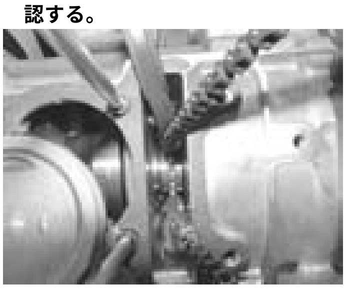


◇付属のピストンピンサークリップをもう片方のピン穴に取り付ける。
使用工具
ラジオペンチ

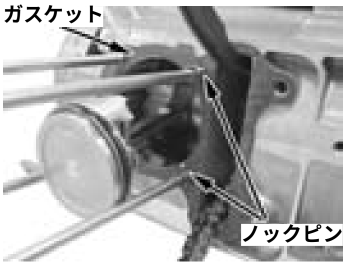


②シリンダの取り付け

◇詰めていたウエスを取り外す。
◇カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトのスプロケットから外れていないか確認する。



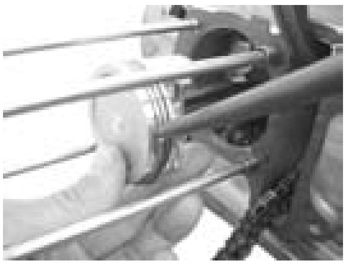
◇クランクケースとシリンダの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。
◇ノックピン２個とシリンダガスケットをクランクケースに取り付ける。



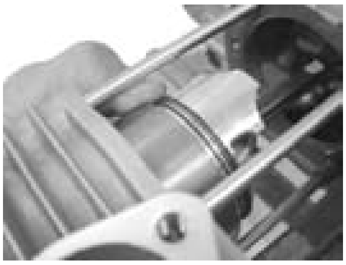
◇シリンダの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。

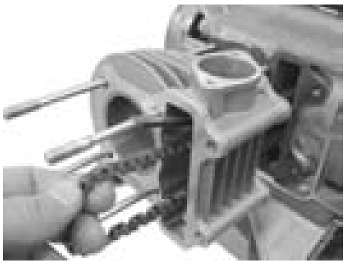


◇ピストンの全周面と、ピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。



◇シリンダをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダをクランクケースにはめ込む。
★シリンダがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダに通しておく。



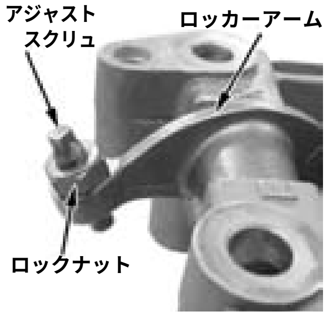


◇カムチェーンガイドをシリンダの溝にしっかりとはめ込む。

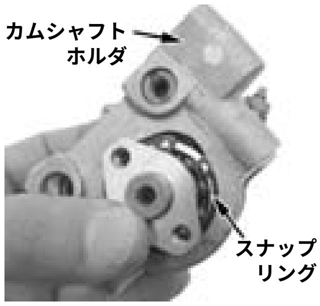


③カムシャフトの取り付け

◇ロッカーアームのアジャストスクリューロックナットをゆるめ、アジャストスクリューをゆるめておく。



◇スナップリングをカムシャフトホルダーから取り外す。
使用工具
スナップリングプライヤー



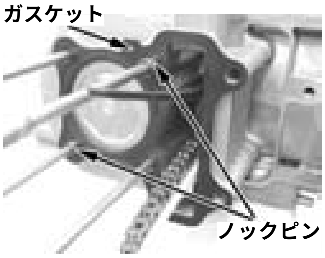
◇カムシャフトホルダーにはカム山の逃げがあるのでカムシャフトを回しながら取り外す。
★無理に引っ張って取り外さないこと。



◇キットのカムシャフトをカムシャフトホルダーに同じように回しながら取り付ける。
◇カムシャフトホルダーにスナップリングを取り付ける。
使用工具
スナップリングプライヤー

④シリンダヘッドの取り付け

◇シリンダとシリンダヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン２個とシリンダヘッドガスケットをシリンダに取り付ける。



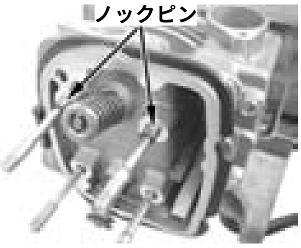
◇カムチェーンをシリンダヘッドに通し、シリンダヘッドを取り付ける。



◇シリンダヘッドにノックピン２個を取り付け、カムシャフトホルダーを取り付ける。

※このとき、カムシャフトはカム山をシリンダヘッド側にして取り付ける。

※カムシャフトホルダーは“ＥＸ”の文字が下側(排気側)になるように取り付ける。





◇ナット４個、ボルト２本を仮止めしておき、先にナットを対角線状になるように数回に分けて締め付ける。

使用工具

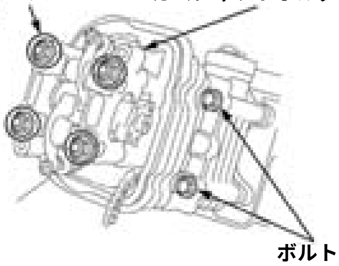
ナット：ソケット１２mm
　　　　トルクレンチ

ボルト：ソケット１０mm
　　　　エクステンションバー中
　　　　トルクレンチ

規定トルク

ナット：１６N・m（1.6kgf・m）

ボルト：１２N・m（1.2kgf・m）



⑤カムスプロケットの取り付け

◇カムチェーンテンショナのプッシュロッドがロックしているか確認する。

◇シリンダにガスケットとカムチェーンテンショナを取り付け、２本のボルトを取り付ける。

使用工具

ソケット　１０mm

トルクレンチ

規定トルク

１０N・m（1.0kgf・m）



◇フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。



◇カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“１”が下側(排気側)、“２”が上側（吸気側）になるようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



◇カムスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、ボルト２本を取り付ける。

使用工具

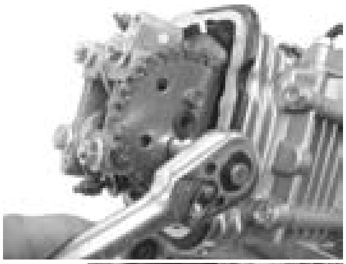
ソケット　８mm

トルクレンチ

メガネレンチ　１４mm

規定トルク

９N・m（0.9kgf・m）





◇カムチェーンテンショナのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。

使用工具

マイナスドライバー極細先



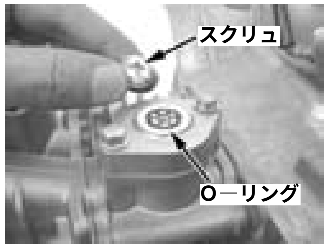
◇カムチェーンテンショナの溝にＯ－リングが付いているのを確認し、スクリューをカムチェーンテンショナに取り付ける。

使用工具

プラスドライバー大

規定トルク

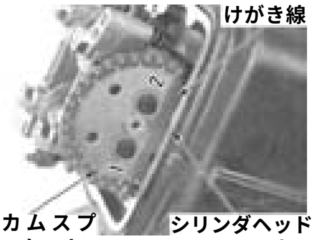
４N・m（0.4kgf・m）



⑥バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“Ｔ”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“１”が下側（排気側）、“２”が上側（吸気側）になっているか確認する。





◇アジャストスクリューとバルブステムの間に０.１mmのシックネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

使用工具

シックネスゲージ

メガネレンチ　９mm

ラジオペンチ

規定トルク

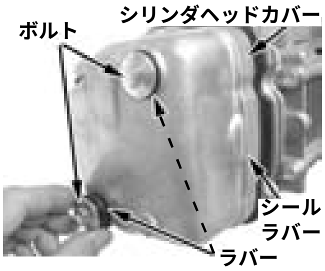
１０N・m（1.0kgf・m）



◇フライホイールを時計方向に２回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

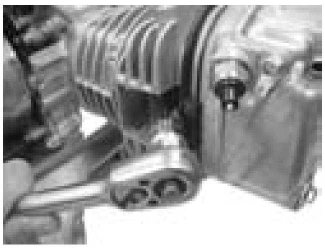
⑦シリンダヘッドカバーの取り付け

◇シリンダヘッドカバーにシールラバーを取り付け、シリンダヘッドにラバー２個、ボルト２本で取り付ける。
※ラバーは“ＵＰ”マークを上に向けて取り付けること。
使用工具
ソケット　１０mm
トルクレンチ
規定トルク
１２N・m（1.2kgf・m）



⑧スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。
◇プラグレンチを用いて締め付ける。
使用工具
プラグソケット　１６mm
トルクレンチ
規定トルク
１２N・m(1.2kgf・m)



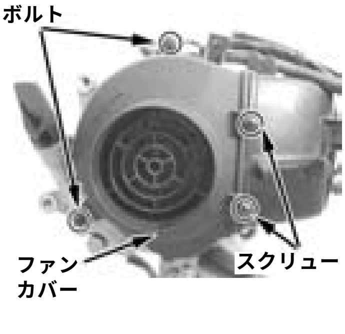
⑨ファンカバーとシュラウドの取り付け

◇上下のシュラウドをシリンダヘッドのシールラバーに合わせて取り付け、左右の爪をはめ込む。
※ホースや配線を噛み込まないこと。
◇スクリュー２本で上下のシュラウドを止め、クランクケースにボルトワッシャ１本で取り付ける。
使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルトワッシャ：ソケット１０mm
トルクレンチ
規定トルク
スクリュー：２N・m（0.2kgf・m）
ボルトワッシャ：７N・m（0.7kgf・m）

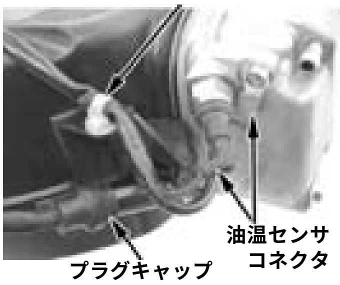




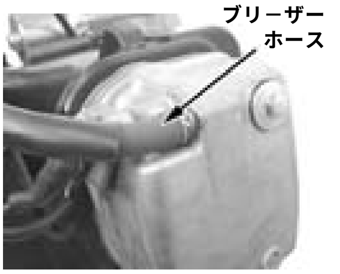
◇ファンカバーをはめ、シュラウドにスクリュー２本で、クランクケースにボルト２本で取り付ける。
使用工具
スクリュー：プラスドライバー大
ボルト：ソケット　8mm
エクステンションバー小
トルクレンチ
規定トルク
スクリュー：２N・m（0.2kgf・m）
ボルト　：７N・m（0.7kgf・m）

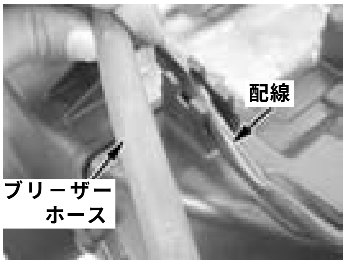


◇油温センサーコネクターをシリンダヘッドカバー油温センサー部に接続し、配線のクランプをシュラウドに取り付ける。
スパークプラグキャップを取り付ける。



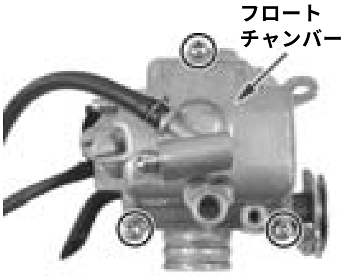
◇ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーに取り付け、油温センサーの配線と共にシュラウドに取り付ける。





⑩キャブレタの取り付け

◇キットのキャブレタのスクリュー３本を取り外し、フロートチャンバーを取り外す。
使用工具
プラスドライバー中



◇メインジェットを取り外しキット内のメインジェット＃８０を取り付ける。
使用工具
マイナスドライバー小
※付属していたメインジェットは使用しない。



◇フロートチャンバーを取り付け、スクリュー３本を取り付ける。
使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
２.１N・m（0.21kgf・m）
◇ノーマルキャブレタのオートバイスタータ部からスクリューを取り外す。
使用工具
プラスドライバー中



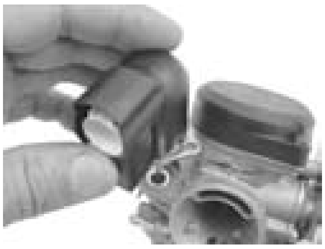
◇オートバイスタータを抜き取る。

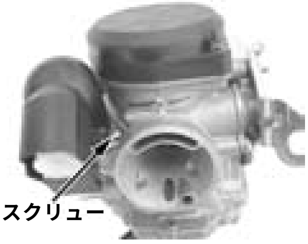


◇キットのキャブレタも同様にオートバイスタータを取り外す。
使用工具
プラスドライバー中
※付属していたオートバイスタータは使用しない。



◇ノーマルのオートバイスタータをキットのキャブレタに取り付け、スクリューを取り付ける。
使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
２.１Ｎ・ｍ
（０.２１ｋｇｆ・ｍ）





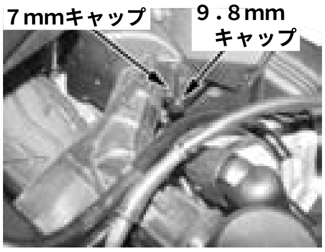
◇ノーマルのキャブレタからフューエルチューブを外し、キットのキャブレタに取り付ける。



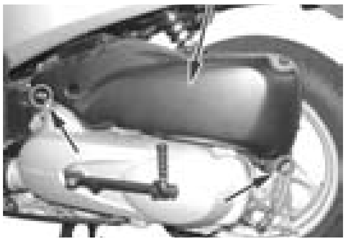
◇エアクリーナケースからバキュームピストンホースとエアリードチューブを取り外す。



◇取り外した後の口にゴム系接着剤を塗布し、上側にキャップ７mm、下側にキャップ９.８mmを取り付ける。



◇エアクリーナケースとクランクケースを止めているボルト２本を取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー小
ラチェットレンチ



◇インシュレータのバンドスクリューを緩め、ノーマルキャブレタを取り外す。
使用工具
プラスドライバー中



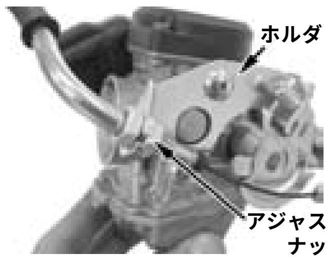
◇キットのキャブレタをインシュレータに取り付け、バンドスクリューを締め付ける。
使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
２Ｎ・ｍ（０.２ｋｇｆ・ｍ）



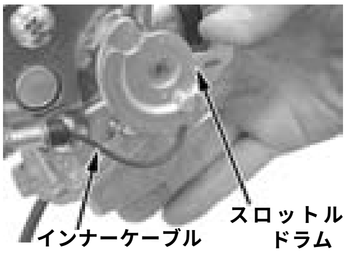
◇スロットルケーブルアジャスト部からラバーとアジャストナットを取り外す。



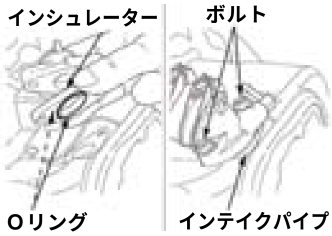
◇キットのキャブレタのホルダにスロットルケーブルを取り付け、アジャストナットを取り付ける。
ラバーを取り付ける。



◇キャブレタのスロットルドラムを回し、スロットルケーブルのインナーを取り付ける。



◇インシュレータの裏表にＯーリングが付いているのを確認してインテイクパイプとシリンダヘッドの間にはさみ、ボルト２本を取り付ける。
使用工具
スパナレンチ　１０mm
規定トルク
１０Ｎ・ｍ（１.０kgｆ・ｍ）

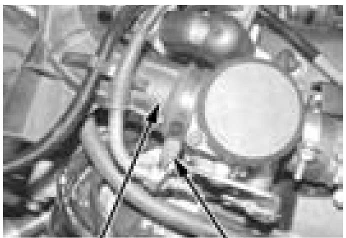


◇エアクリーナケースとクランクケースをボルト２本で取り付ける。
使用工具
ソケット１０mm
エクステンションバー小
トルクレンチ
規定トルク
１０Ｎ・ｍ（１.０kgｆ・ｍ）

◇バキュームチューブをインテイクパイプに接続する。



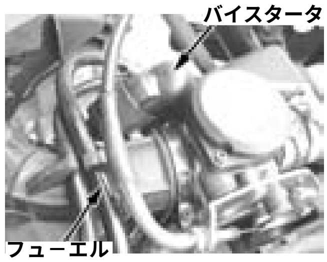
◇キットのキャブレタはノーマルのものより全長が短いため、コネクティングチューブを若干引き寄せながらキャブレタにはめ込み、チューブバンドを締め付ける。
使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
２Ｎ・ｍ（０.２ｋｇｆ・ｍ）



◇フューエルチューブをフューエルタンクの負圧コックに接続する。

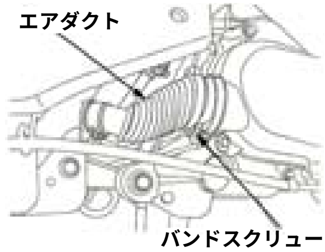


◇バイスタータの灰色カプラを接続し、フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプに取り付ける。

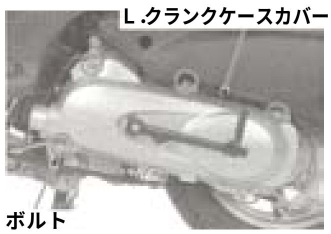


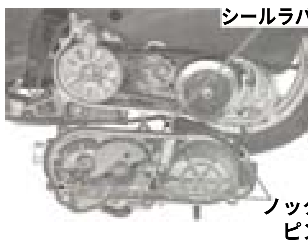
⑪ハイギアの取り付け

◇Ｌ.クランクケースカバーにあるエアダクトのバンドスクリューを緩め、ケースカバーからダクトを取り外す。
使用工具
プラスドライバー中

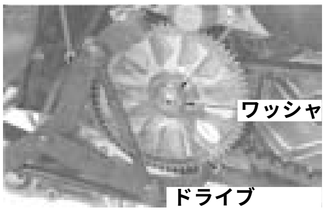


◇Ｌ.クランクケースカバーを固定しているボルト６本を外し、Ｌ.クランクケースカバーとシールラバーを取り外す。
使用工具
ソケット　８mm
エクステンションバー小
ラチェットレンチ





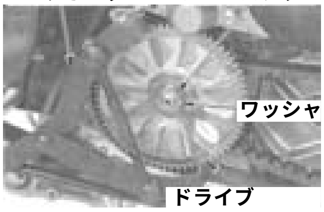
◇クラッチセンタホルダにてドライブプーリフェースを固定し、プーリーフェースナットとワッシャを取り外し、ラチェットプレート、ドライブプーリフェースを外して下さい。
注意：Ｌ.クランクケースの合わせ面を傷つけないように注意して下さい。



◇ムーバブルドライブフェースを、裏側のランププレートを押さえウエイトローラーが落下しないよう注意しながら、ドライブフェースボスと共に取り外して下さい。
◇ノーマルウエイトローラーを、ムーバブルドライブフェースに取り付けて下さい。
注意：ウエイトローラー及びムーバブルドライブフェースに油脂を付着させないで下さい。
◇ランププレートにスライドピースが取り付けてある事を確認し、ムーバブルドライブフェースに取り付けて下さい。
◇ムーバブルドライブフェースにドライブフェースボスを取り付け、ランププレートを押さえながらクランクシャフトに取り付けて下さい。
注意：ドライブベルトに油脂を付着させないで下さい。
◇ドライブベルトをドライブフェースボスに通して下さい。



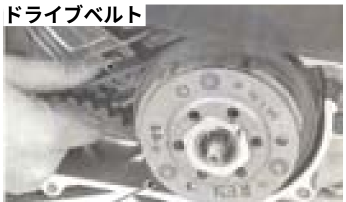
◇ドライブプーリーフェース、ラチェットプレート、ワッシャをクランクシャフトに取り付け、クラッチセンタホルダにてドライブプーリフェースを固定しながら、プーリーフェースナットを規定トルクにて締め付けて下さい。
この時、プーリーフェースナットの座面にエンジンオイルを塗布して下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
Ｔ＝５９Ｎ・ｍ
（６.０ｋｇｆ・ｍ）



◇ユニバーサルホルダーを使用して、クラッチアウターを固定しているナットを外し、クラッチアウターを取り外す。
使用工具
ユニバーサルホルダー
ソケット　１４mm
ラチェットレンチ



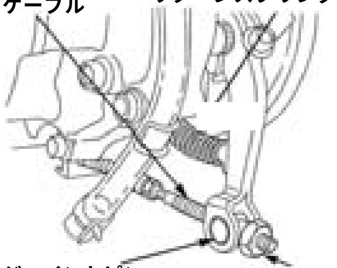
◇ドライブベルトを絞ってクラッチ／ドリブンプーリーＡＳＳＹ.とドライブベルトを取り外す。



◇リヤホイールのアクスルナットとワッシャを外し、リヤホイールを取り外す。
使用工具
ソケット　２４mm
ラチェットレンチ



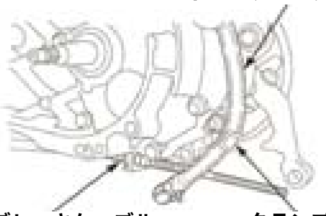
◇アジャストナットを外し、ブレーキケーブルをジョイントピンから取り外す。



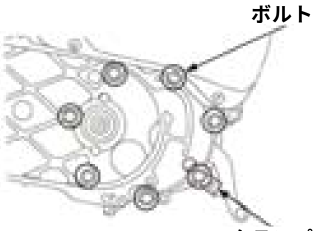
◇トランスミッションケースブリーザーチューブをエアクリーナーケースから取り外す。



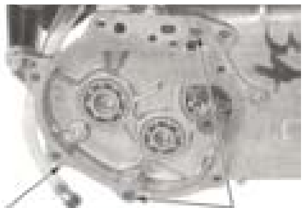
◇クランクケースブリーザードレインチューブをクランプから取り外す。
◇リヤブレーキケーブルをトランスミッションケースから取り外す。



◇ミッションケースの下にオイルの受け皿を置く。
◇トランスミッションケースボルト７本とチューブクランプを取り外し、トランスミッションケースを取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー小
ラチェットレンチ



◇Ｌ.クランクケースからノックピン２本とケースガスケットを取り外す。



◇Ｌ.クランクケースにプーラーを取り付け、ドライブシャフトを取り外す。
専用工具：ケースプーラー
（０７ＳＭＣ－００１０００１）



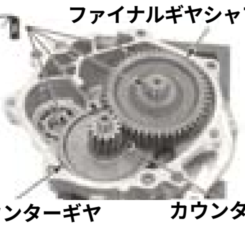
◇ドライブシャフト側にベアリングが残った場合、市販のベアリングプーラーを使用し、取り外す。



◇トランスミッションケースからファイナルギヤシャフト、カウンターシャフト、カウンターギヤを取り外す。



◇キットのカウンターギヤのスプラインに合わせて、カウンターシャフトを取り付け、トランスミッションケースに取り付ける。
◇ファイナルギヤシャフトを取り付ける。
※各ギヤとベアリング部にエンジンオイルを塗布すること。



◇キットのドライブシャフトをＬ.クランクケースのベアリング部に差し込み専用工具を使用し、ドライブシャフトを取り付ける。

専用工具

：アッセンブリカラー（０７９６５－ＧＭ００１００）

：アッセンブリカラーアタッチメント（０７９６５－ＧＭ００２００）

：アッセンブリシャフト（０７９６５－ＧＭ００３００）

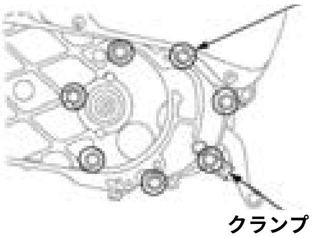


◇Ｌ.クランクケースにノックピン２本とキットのガスケットを取り付ける。



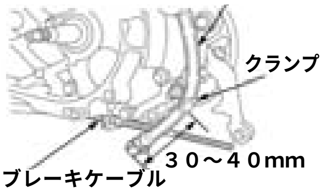
◇チューブクランプとトランスミッションケースボルト７本を取り付け締め付ける。

使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー小
トルクレンチ
規定トルク
１２Ｎ・m(１.２ｋｇｆ・m)



◇ドレインプラグが図のようにクランプから３０～４０mmの位置になるように、クランクケースブリーザードレインチューブをクランプに取り付ける。

◇リヤブレーキをトランスミッションケースに取り付ける。



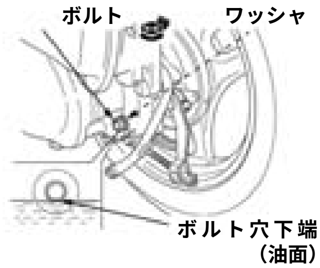
◇トランスミッションケースブリーザーチューブをエアクリーナーケースに取り付ける。



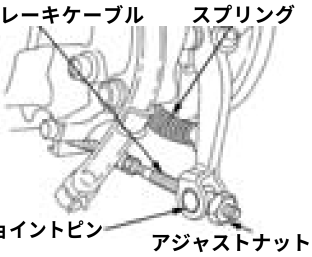
◇オイルチェックボルトを外し、ボルト穴の下端までオイルを注入する。

◇チェックボルトを取り付け、締め付ける。

使用工具
ソケット１２mm
トルクレンチ
規定トルク
１３Ｎ・m(１.３ｋｇｆ・m)
推奨オイル
ホンダウルトラＵ　１０Ｗ－３０
又は
ＡＰＩ分類ＳＪ級
ＳＡＥ規格１０Ｗ－３０



◇ジョイントピンをブレーキアームに取り付け、ブレーキケーブルをジョイントピンに通してアジャストナットを取り付ける。



◇リヤホイールを取り付け、ワッシャを取り付ける。

◇アクスルナットのネジ部と座面にオイルを塗布し、ナットを取り付け締め付ける。

使用工具
ソケット　２４mm
トルクレンチ
規定トルク
１１８Ｎ・m(１２.０ｋｇｆ・m)

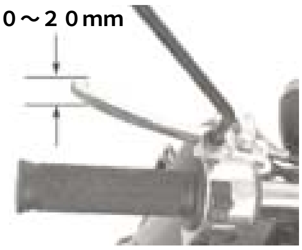
※ブレーキドラム内面及びブレーキライニングを脱脂して取り付けること。



◇リヤブレーキのアジャストナットを回し、リヤブレーキの調整をする。

◇Ｌ.ブレーキレバー先端で遊びを確認する。

遊び：１０～２０mm



◇ドライブベルトをドライブプーリーに取り付け、ドリブンプーリーの溝を広げドライブベルトを取り付ける。

◇クラッチ／ドリブンプーリーＡＳＳＹ.をドライブシャフトに取り付ける。



◇クラッチアウターとナットを取り付け、ユニバーサルホルダーを使用し、ナットを締め付ける。

規定トルク
３９Ｎ・m(４.０ｋｇｆ・m)

※クラッチアウター内面及びクラッチライニングを脱脂して取り付けること。



◇シールラバーをＬ.クランクケースカバーの溝に取り付ける。

◇ノックピン２本を取り付ける。



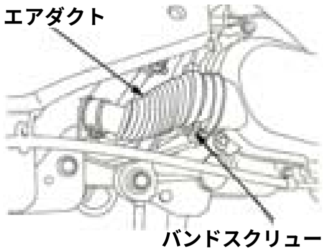
◇Ｌ.クランクケースカバーを取り付けボルト６本を対角に数回に分けて締め付ける。

規定トルク
１０Ｎ・m(１.０ｋｇｆ・m)



◇エアダクトをＬ.カバーに取り付け、バンドスクリューを図のように下に向け締め付ける。

使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
２Ｎ・m(０.２ｋｇｆ・m)



⑫二次空気供給パイプの取り付け

◇シリンダヘッドにガスケットとパイプをボルト２本で取り付ける。

使用工具
ソケット　８mm
エクステンションバー中
（進行方向後側ボルトのみ）
ラチェットレンチ
規定トルク
１０Ｎ・ｍ（１.０kgf・ｍ）



⑬エキゾーストマフラの取り付け

◇シリンダーヘッドのスタッドボルトにエキゾーストマフラのフランジを差し込み、位置を合わせる。
◇エキゾーストマフラのフランジ側をナット２個で、マフラステー部をボルト２本でまず仮止めする。

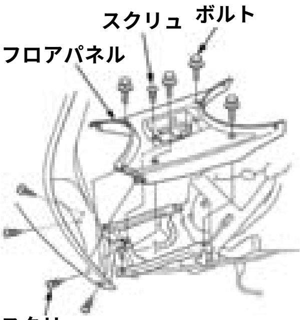




◇まず、ナット２個を本締めし、ボルト２本を本締めする。
使用工具
ナット：ソケット　１０mm
　　　　エクステンションバー中
　　　　トルクレンチ
ボルト：ソケット１２mm
　　　　トルクレンチ
規定トルク
ナット：１０N・m
（1.0kgf・m）
ボルト：２６N・m
（2.7kgf・m）

⑭フロアパネルの取り付け

◇フロアパネルの穴にワイヤーハーネスやヒューズボックスを通し、フロアパネルを車体にはめ込む。
◇フレーム側にボルト４本とスクリュ１本、レッグシールド側にスクリュ４本で取り付ける。
使用工具
スクリュ：プラスドライバー中
ボルト　：ソケット１０mm
　　　　　トルクレンチ
規定トルク
スクリュ：２N・m
（0.2kgf・m）
ボルト　：１０N・m
（1.0kgf・m）

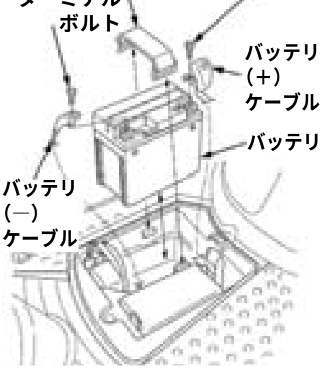


◇スタータリレーやＣ.Ｄ.Ｉユニットのカプラを接続し、フロアパネルにはめ込む。

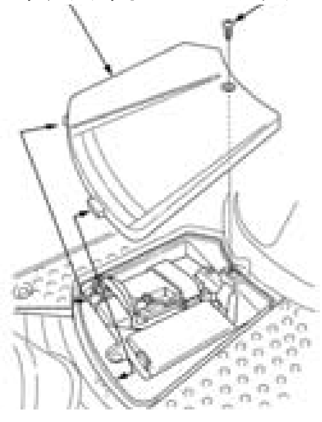


⑮バッテリの取り付け

◇メインスイッチがＯＦＦか確認する。
◇バッテリをフロアパネルに入れ、ホルダバンドで固定する。バッテリのプラス側にプラスケーブルをボルトで取り付ける。バッテリのマイナス側にマイナスケーブルをボルトで取り付ける。
使用工具
メガネレンチ　１０mm
規定トルク
１４N・m（1.4kgf・m）



◇フロアパネルにバッテリリッドの前部を先に差し込み、はめ込む。スクリュ１本を取り付ける。
使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
２N・m（0.2kgf・m）

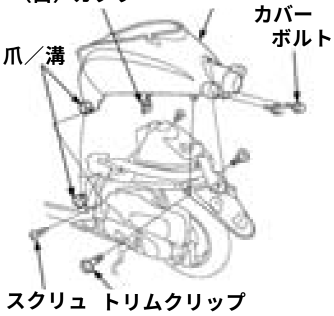


⑯ボディーカバーの取り付け

◇ボディーカバーを少し左右に広げ、車体にかぶせる。この際、配線の白色カプラを接続する。



◇ボディーカバーの前部をフロアパネルの溝にしっかりとはめ込む。
◇ボディーカバー後部のリアキャリア取り付け穴とリアフェンダー取り付け穴を、フレームのそれぞれのボス部にはめ込む。
◇スクリュ２本、ボルト２本、トリムクリップ２個を取り付ける。
使用工具
スクリュ：プラスドライバー中
ボルト：ソケット　１０mm
　　　　エクステンションバー小
　　　　トルクレンチ
規定トルク
スクリュ：２N・m
（0.2kgf・m）
ボルト：１０N・m
（1.0kgf・m）



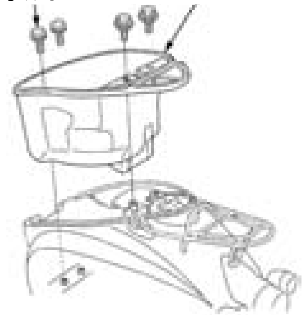
※トリムクリップは中央部を上げておき、取り付けてから中央部を押してロックさせる。



◇リアキャリアをボルト１本で仮止めする。



◇ラゲッジボックスの後部の取り付け穴２箇所をリアキャリアの取り付け穴に合わせ、ボルト４本で取り付ける。リアキャリアのボルト１本を本締めする。
使用工具
ソケット　１０mm
トルクレンチ
規定トルク
１０N・m（1.0kgf・m）



●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。

②各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。
◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。
◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検する。
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。

〒５８４−００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
株式会社 SPECIAL PARTS 武川
TEL　０７２１−２５−１３５７　FAX　０７２１−２４−５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１−２５−８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

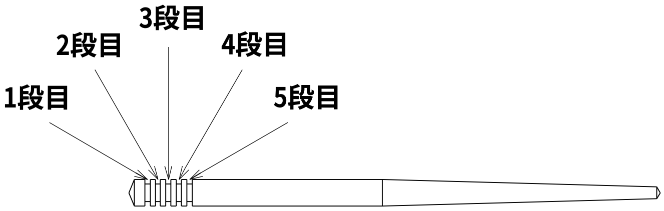
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル　（スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット　（スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット　（調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３．０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
　パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１．５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９　URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７

Aug./20/ 09